

第37期



国際物流管理士資格認定講座

International Logistics Master Course



第37期 国際物流管理士資格認定講座 開催日程

第1単元	9月 2日(水) ~ 9月 3日(木)	第6単元	11月18日(水) ~ 11月20日(金)
第2単元	9月16日(水) ~ 9月17日(木)	第7単元	12月 3日(木) ~ 12月 4日(金)
第3単元	10月 6日(火) ~ 10月 7日(水)	第8単元	1月19日(火) ~ 1月20日(水)
第4単元	10月27日(火) ~ 10月28日(水)	第9単元	2月 3日(水) ~ 2月 4日(木)
第5単元	10月28日(水) ・ 11月 5日(木)	認定証授与式	3月11日(金)
現地見学	11月 6日(金)		

第37期『国際物流管理士資格認定講座』開催にあたって

新興国における経済が高成長を続け、世界規模での最適地調達、最適地生産など企業活動のグローバル化が進展し、企業経営においては、国際競争を勝ち抜くためのグローバルロジスティクスの重要度が高まっております。

製造業においては、グローバルな視点に立った生産拠点、物流拠点の配置による、消費地へのシームレスな物流構築のため、国際物流のシステム革新やローコストオペレーションの推進が不可欠であると認識されています。

また、物流企業においては、国際物流の効率化を支援するためのシステム提案型のサービス提供が不可欠となり、顧客である荷主のグローバルロジスティクス構築のために果たす役割が大きくなっております。

このような状況のもと、産業界では国際競争力強化のため、国際物流の専門知識と管理技術を習得したスペシャリストが求められております。

「国際物流管理士資格認定講座」は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として1979年の開講以降、1,464名の「国際物流管理士」を輩出し、産業界より非常に高い評価をいただいております。

第37期を迎える本講座は、広範に渡る国際物流について、概論から応用までわかりやすく解説するとともに、企業事例や物流施設見学、グループ討議やケーススタディなどを取り入れた、実務に直結するカリキュラム構成としております。

国際物流のスペシャリストの育成に、ぜひ本講座を積極的にご活用くださいますようお願い申し上げます。



能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会
委員長 石原 伸志
(東海大学 海洋学部 特任教授)

国際物流管理士資格認定講座とは

国際物流に関連する専門知識やマネジメント技術を体系的かつ総合的に学ぶ

- 国際物流の第一線で活躍されている実務家やコンサルタント、学識経験者を講師に迎え、国際物流のスペシャリストにとって必要な専門知識やマネジメント技術を、体系的かつ総合的に学ぶことができます。
- カリキュラムは、9つの単元により構成され、受講日数は延べ19日間となります。

「国際物流管理士」の資格取得

- 講座を修了し、所定の試験に合格した方には、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会より「国際物流管理士(英文名称:International Logistics Master)」の資格が授与されます。これまでに1,464名の「国際物流管理士」が誕生し、各分野で活躍しています。
- 「国際物流管理士」の資格は、出席日数、筆記試験(5回のレポート試験と1回の客観試験)等の結果を考慮し、資格認定規程に沿って認定いたします。

ヒューマンネットワークの構築

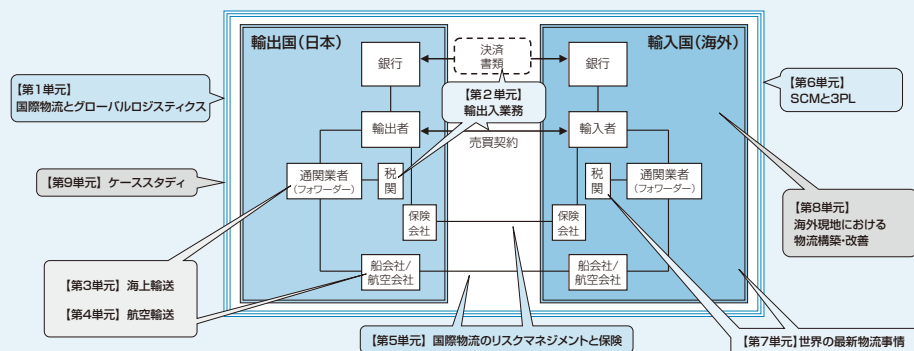
- グループ討議や懇親会において、受講者同士の交流を深め、ヒューマンネットワークの構築を促進します。
- 様々な業種・役職の方々と交流を通じて、業務を行う上でのヒントや幅広い視野を得ることができます。

実践力習得のためのグループ討議・ケーススタディ

- 講座受講中、計3回行われるグループ討議・ケーススタディでは、実践的な課題に対して、さまざまな業種や立場で構成されるグループのメンバーとの討議を通じて実践力の習得を目指します。

「国際物流の領域」と各単元の位置づけ

(日本からの輸出の例)



国際物流管理士に期待される到達レベル

- ①国際物流やグローバルロジスティクスに関する専門知識を有し、実務で活かすことができる。
- ②自社の物流の現状を把握し、問題発見や解決すべき課題を設定することができる。
- ③課題解決策を立案し、国内外問わず、社内外の関係者の理解と協力を得ながら実行することができ、さらにその効果を評価することができる。
- ④グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画・提案することができる。
- ⑤海外赴任先において、異なった価値観や習慣を持つ現地スタッフに対して、指導や権限委譲を行いながら、チームとしてまとめ、実務を遂行することができる。



国際物流関連施設の見学

大井埠頭や羽田空港等、国際物流関連施設を実際に見学し、施設管理者からの説明や質疑応答を通じて、講義で学んだことをより深く理解することができます。



受講対象・受講要件

受講対象

国際物流のスペシャリストを志向する方、国際物流に携わる中堅管理者・担当者

受講要件

国際物流関連業務に従事し2年程度の経験を有する方

資格認定について

◆ 修了基準

- i) 14日以上出席すること。
- ii) 単元欠席(ひとつの単元の講義を全日欠席すること)がないこと。
- iii) 該当する単元で出題されるレポート試験を全て受験していること。
- iv) 客観試験を受験していること。
- v) 第9単元「ケーススタディ」に2日間出席すること。

◆ 合格基準

	①レポート試験(5回)					②客観試験	③欠席減点	④総合平均点 [(1+2)÷6]-③
	第2単元	第3単元	第4単元	第5単元	第6単元			
配点	100点	100点	100点	100点	100点	100点	1日欠席:1点減点 半日欠席:0.5点減点	100点
合格基準	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上		70点以上
提出日/実施日	10月7日	10月28日	11月18日	11月25日	12月10日	2月3日		

※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。

単元聴講制度

- 本講座には、特定の単元のみご受講いただくことができる「単元聴講制度」がございます(ただし第9単元を除く)。
- 単元聴講をされた方が資格認定を希望し、本講座を受講される場合は、既に聴講された単元を有効単元といたします。ただし、最初に単元聴講をされた年度より2年以内に本講座を修了することが条件となります。
- 詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

有資格者優待

- 当協会が認定する「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」の資格を持つ方は、優待料金にて本講座をご受講いただくことができます(受講申込規程をご参照ください)。
- 「国際物流管理士」の資格を取得された方は、当協会が主催する「ロジスティクス経営士」「物流技術管理士」資格認定講座を優待料金にてご受講いただけます。優待料金の詳細は、各講座のパンフレットをご参照ください。

国際物流管理士専門委員会 委員名簿

本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線でご活躍されている学識経験者や実務家で構成された能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会によって企画・運営されています。

(敬称略・順不同)

委員長	石原 伸志	東海大学 海洋学部 特任教授
副委員長	小林二三夫	横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長
委員	枝川 浩志	日立建機ロジテック株式会社 取締役 国際物流部長
〃	荻原 克郎	井本商運株式会社 営業部 部長
〃	高田 誠一	トライネット・ロジスティクス株式会社 社友
〃	中丸 睦美	三菱電機株式会社 ロジスティクス部 技術グループ 専任
〃	橋本 浩介	東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 部長(貨物業務グループリーダー兼務)
〃	日暮 豊	日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ グループ長
〃	村嶋 誠人	インテル株式会社 CPLG SCDE CSG 日本・南・東南アジア及びニュージーランド・オーストラリア担当 カスタマーソリューション・マネージャー
〃	山縣 敏憲	港湾職業能力開発短期大学校 横浜校非常勤講師
〃	吉野 光宣	山九株式会社 ロジスティクス・ソリューション事業本部 3PL営業部 部長

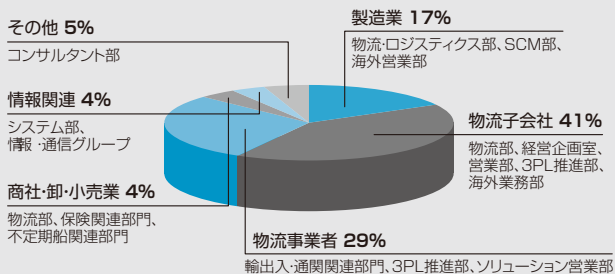
(参考) 過去5年間の資格取得者所属企業一覧

秋田海陸運送(株)	コクヨサプライロジスティクス(株)	西鉄物流(株)	(株)富士通アドバンスエンジニアリング
旭化成ケミカルズ(株)	コニカミノルタ物流(株)	西日本鉄道(株)	(株)富士通九州システムズ
いすゞ自動車(株)	独立行政法人 雇用・能力開発機構	(株)ニチレイフーズ	(株)富士テクノランス
いすゞライネックス(株)	佐川急便(株)	ニッコー・ロジスティクス(株)	富士フィルムロジスティクス(株)
井上運送(株)	山九(株)	日通NECロジスティクス(株)	(株)プラウド
伊予商運(株)	JSR(株)	日東ロジコム(株)	ホンダロジコム(株)
インターナショナル・カーゴ・サービス(株)	ジェイティ物流(株)	一般社団法人日本海事検定協会	丸全昭和運輸(株)
インテル(株)	(株)新開トランスポートシステムズ	日本コカ・コーラ(株)	(株)丸和運輸機関
(株)インフォセンス	スタンレー電気(株)	日本電気(株)	三井化学(株)
(株)ANA Cargo	住化ロジスティクス(株)	日本フレートライナー(株)	三井倉庫(株)
SEIロジネット(株)	センコー(株)	日本郵便(株)	三菱商事(株)
ST物流サービス(株)	全日本空輸(株)	日本ロジテム(株)	三菱商事ロジスティクス(株)
SBフレームワークス(株)	田中貴金属ビジネスサービス(株)	博多港運(株)	三菱電機(株)
オリンパス(株)	中越通運(株)	パラマウントベッド(株)	ムンディファーマ(株)
カゴメ物流サービス(株)	中外製薬(株)	(株)PAL	(株)ヤクルト本社
上伊那貨物自動車(株)	ドイツロジャパン(株)	(株)バンダイロジバル	(株)安川ロジステック
カリソー(株)	(株)トクヤマロジスティクス	日立建機ロジテック(株)	ラインケミージャパン(株)
岐阜プラスチック工業(株)	トライネット・ロジスティクス(株)	(株)日立物流	(株)LIXIL
キムラユニティー(株)	ナイキジャングループ(合)	日立物流ソフトウェア(株)	リコーロジスティクス(株)
クレハ運輸(株)	南海プライウッド(株)	(株)富士エコー	

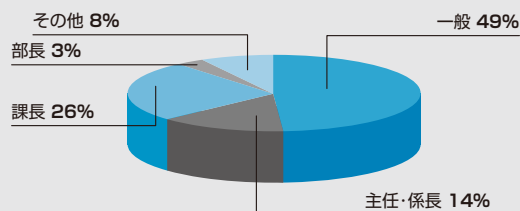
*社名50音順。
原則として、資格取得時の社名で掲載

過去5年間の国際物流管理士資格認定講座 受講者属性

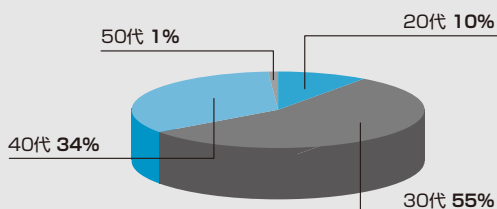
業種別割合と主な所属部門



役職別割合



年齢別割合



第36期国際物流管理士 資格取得者の声

鈴木 祐介 氏 (三菱電機(株) ロジスティクス部 技術グループ)

企業活動が多国間にまたがり、サプライチェーンが世界中に張り巡らされた今日、ロジスティクスの成否が企業の業績に多大な影響を与えるようになってきました。2014年度は、米国西海岸の港湾争議による物流停滞で様々な業種の企業が影響を受け、世間一般にもロジスティクスの重要性が認識された年でした。

私は通関・輸出管理と航空貨物輸送を専門分野としていますが、グローバルロジスティクス改革の企画・立案を行う上で幅広い知識が必要となり、本講座を受講しました。

講義は、各分野の専門家・実務家の先生方が理論から実務までを担当するため、広範囲で且つレベルの高い内容となっています。国際物流の基本知識はもちろんのこと、昨今話題となっている北極海航路やASEAN域内の物流網に関する深い知見が得られ、非常に有意義でした。グループディスカッションもカリキュラムに含まれており、異なる業種の受講メンバーと自由な発想で行った議論と、先生方から受けた的確なアドバイスは、今後の仕事に役立つものと思います。

また、座学のほかに物流施設見学として、国際物流関連施設を訪れ、日本の輸出入物流の現状、貿易構造の一端を体感することが出来ました。

私は現在、習得した知識を活用し、グローバルロジスティクス改革案の検討を始めているところです。

第37期 国際物流管理士資格認定講座 カリキュラム

*講師の都合等によりスケジュールに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

(敬称略)

第1単元 国際物流とグローバルロジスティクス

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

石原 伸志 (東海大学 海洋学部 特任教授)

山縣 敏憲 (港湾職業能力開発短期大学校 横浜校非常勤講師)

国際物流からロジスティクス、サプライチェーンへの展開等を学び、次単元以降の講義を理解するための基盤作りを行う。また、グループ討議を通じて、課題解決への実践的な考え方を学ぶとともに、異業種メンバーによる交流とヒューマンネットワークの形成を図る。

日程	時間	講義テーマ	講師
9月2日(水)	9:30~10:45	開講式 記念講演「国際物流マンの役割と使命」	山縣 敏憲 港湾職業能力開発短期大学校 横浜校非常勤講師
	10:50~11:30	講座オリエンテーション	事務局
	12:30~14:00	国際物流とロジスティクス	石原 伸志 東海大学 海洋学部 特任教授
	14:10~16:40	グローバル調達ネットワークとロジスティクスの理論	橋本 雅隆 明治大学 専門職大学院 グローバルビジネス研究科 教授
	17:00~18:30	キックオフミーティング(交流会)	
9月3日(木)	9:30~16:30	グループ討議 国際物流の現状・自社の課題認識と解決の考え方	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー

第2単元 輸出入業務

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

小林 二三夫 (横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長)

石原 伸志 (東海大学 海洋学部 特任教授)

国際物流に携わる上で、通関、インコタームズ、決済、外国為替、国際ファイナンス等、輸出入に関わる事項の習得は不可欠である。本単元では、ウイーン売買条約等の最新情報を盛り込みながら、輸出入業務について、基礎から分かり易く解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
9月16日(水)	9:30~14:50	輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム	宮崎 千秋 公益財団法人日本関税協会 調査・研究担当部長
	15:00~17:30	輸出入とインコタームズ、ウイーン売買条約	小林 二三夫 横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長
9月17日(木)	9:30~16:30	貿易売買契約と各種決済方法、 外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス	井上 泰伸 日本貿易学会
レポート提出日		2015年10月7日(水) 13:00まで	

第3単元 海上輸送

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

日暮 豊 (日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ グループ長)

荻原 克郎 (井本商運株式会社 営業部 部長)

海上貨物輸送は全世界における貿易の約9割で用いられており、国際物流を進める上で不可欠となっている。本単元では、海上貨物輸送の概論からフォワーダー、荷主企業の取り組みまで解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
10月6日(火)	9:30~12:30	NVOCCと国際複合輸送	高田 誠一 トライネット・ロジスティクス株式会社 社友
	12:30~12:50	第7単元グループ討議 事前準備レポート出題	高田 誠一 トライネット・ロジスティクス株式会社 社友
	13:50~15:40	海上輸送における特殊貨物(危険物)概論	飛延 孝男 一般社団法人日本海事検定協会 安全技術サービスセンター 副参事
	15:50~17:20	国際物流におけるコスト削減に向けた取り組み ~海上輸送を中心として~	荻原 克郎 井本商運株式会社 営業部 部長
10月7日(水)	9:30~12:30	海上貨物輸送概論	合田 浩之 日本郵船株式会社 渉外グループ 調査役
	13:30~16:30	海上個品運送契約 / 船荷証券 / Sea Waybill / 複合運送証券	芹澤 総太 日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ 海事法務保険チーム チーム長
レポート提出日		2015年10月28日(水) 13:00まで	

第4單元 航空輸送

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

株式会社ANA総合研究所

村嶋 誠人 (インテル株式会社 CPLG SCDE CSG 日本・東南アジア及びニュージーランド・オーストラリア担当 カスタマーソリューションマネージャー)

商品ライフサイクルの短縮化やグローバルにおける在庫の最小化への対応を進める上で、航空貨物輸送の果たすべき役割は大きい。本単元では、航空貨物輸送の概論からインテグレーターやフォワーダーの取り組みまで、分かりやすく解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
10月27日(火)	9:30~17:00	航空貨物輸送概論 航空協定、航空運送約款と航空運送状 航空貨物運賃	土川 孝 株式会社ANA総合研究所 主席研究員 丸目 啓介 株式会社ANA Cargo 総務企画部 教育訓練課
10月28日(水)	9:30~11:30	フォワーダーのグローバルロジスティクス展開	鈴木 伸彦 株式会社ジュリアンウッドベル 代表取締役
	12:30~14:00	インテグレーターの輸送サービスの実際	山口 邦男 フェデックス サプライチェーン アジア太平洋地区 専任本部長
レポート提出日		2015年11月18日(水) 13:00まで	

第5單元 国際物流のリスクマネジメントと保険

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

橋本 浩介 (東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 部長(貨物業務グループリーダー兼務))

村嶋 誠人 (インテル株式会社 CPLG SCDE CSG 日本・東南アジア及びニュージーランド・オーストラリア担当 カスタマーソリューションマネージャー)

企業活動におけるリスクマネジメントの重要性はますます高まっている。本単元では、国際物流におけるリスクの概要と、特に重要となる貨物事故防止対策、並びに貿易貨物保険とクレーム手続のポイントについて解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
10月28日(水)	14:10~16:40	リスクマネジメント概論	田代 邦幸 株式会社インターリスク総研 事業リスクマネジメント 事業継続マネジメントグループマネージャー・上席コンサルタント
11月5日(木)	9:30~12:30	国際物流におけるリスクマネジメントとロスプリベンション	能勢 正貴 一般社団法人日本海事検定協会 検査第一サービスセンター 貨物損害チーム チームリーダー
	13:30~17:00	貿易貨物保険とクレームの実務	橋本 浩介 東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 部長(貨物業務グループリーダー兼務)
レポート提出日		2015年11月25日(水) 13:00まで	

物流施設見学

11月6日(金)	10:00~12:00	羽田空港 貨物ハンドリング施設	株式会社ANA Cargo
	14:30~16:00	大井埠頭 コンテナターミナル	日本郵船株式会社

第6單元 SCMと3PL

会場

11/18 タイム24ビル
11/19,11/20 JILS研修室

単元コーディネーター

高田 誠一 (トライネット・ロジスティクス株式会社 社友)

枝川 浩志 (日立建機ロジテック株式会社 取締役 国際物流部長)

物流・ロジスティクスの高度化、効率化を考える上で在庫管理やSCM、3PLは重要なテーマである。本単元では、それらの理論とともに実例を交えて解説する。また、これまでの単元で習得した事項を踏まえたグループ討議にも取り組む。

日程	時間	講義テーマ	講師
11月18日(水)	9:30~17:30	グループ討議 ※グループに1台パソコンをご準備いただきます。	高田 誠一 トライネット・ロジスティクス株式会社 社友
11月19日(木)	9:30~12:00	在庫管理の実務	芝田 稔子 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント
	13:00~15:00	SCMの実務	平山 基 株式会社シーモット 代表取締役
	15:10~17:10	トヨタのグローバルロジスティクス	高松 孝行 トヨタ自動車株式会社 生産管理本部 物流管理部 プロフェッショナルパートナー
11月20日(金)	9:30~12:30	3PL概論	大橋 進 株式会社ロジスティクス・コンセプト 代表取締役
	13:30~15:00	国際物流における3PL導入事例	村嶋 誠人 インテル株式会社 CPLG SCDE CSG 日本・東南アジア及びニュージーランド・オーストラリア担当 カスタマーソリューションマネージャー
	15:10~16:40	国際物流における3PLの実践事例	講師調整中
レポート提出日		2015年12月10日(木) 13:00まで	

第7単元 世界の最新物流事情

会場
JILS研修室

単元コーディネーター

石原 伸志 (東海大学 海洋学部 特任教授)
吉野 光宣 (山九株式会社 ロジスティクス・ソリューション事業本部 3PL営業部 部長)

物流コストを削減しつつ、高品質な国際物流を構築するためには、海外の物流状況を把握することが不可欠である。本単元では、各地域における物流インフラ、通関等の物流事情について、最新事情を盛り込みながら解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
12月3日(木)	10:30~12:30	インドの最新物流事情	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
	13:30~16:30	東南アジアの最新物流事情	石原 伸志 東海大学 海洋学部 特任教授
12月4日(金)	9:30~12:30	中国の最新物流事情	町田 一兵 明治大学 商学部 准教授
	13:30~15:30	欧州の最新物流事情	梅本 進一 株式会社日新 執行役員(国際営業担当)
	15:40~17:30	米国の最新物流事情	芦田 誠 拓殖大学 副学長

第8単元 海外現地における物流構築・改善

会場
JILS研修室

単元コーディネーター

吉野 光宣 (山九株式会社 ロジスティクス・ソリューション事業本部 3PL営業部 部長)
中丸 睦美 (三菱電機株式会社 ロジスティクス部 技術グループ 専任)

経済成長が著しい中国や東南アジア等の新興国では、現地における物流構築・改善の重要性がますます高まっている。本単元では、海外現地においてこれらの取り組みを進める上でのポイントについて解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
1月19日(火)	9:30~12:30	海外現地における人材マネジメント方策	町田 秀樹 株式会社アスピレックス 代表取締役社長
	13:30~15:00	海外現地における品質向上に向けた取り組み	吉野 光宣 山九株式会社 ロジスティクス・ソリューション事業本部 3PL営業部 部長
	15:10~16:40	国際物流戦略における釜山港の利用	セイノーロジックス株式会社
1月20日(水)	9:30~12:00	ITによる国際物流の見える化	寺田 猛史 鴻池運輸株式会社 営業統轄本部 システム営業部 部長代理
	13:00~15:00	海外現地における物流構築・改善の実際①	中丸 睦美 三菱電機株式会社 ロジスティクス部 技術グループ 専任
	15:10~17:10	海外現地における物流構築・改善の実際②	講師調整中

第9単元 ケーススタディ

会場
タイム24ビル

グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに据えたケーススタディにグループで取り組む。サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法を学ぶ。

日程	時間	講義テーマ	講師
2月3日(水)	9:30~10:30	客観試験	事務局
	11:00~18:00	ケーススタディ「グローバルロジスティクス改革」	池田 篤彦 株式会社日本能率協会コンサルティング コンサルタント
2月4日(木)	9:30~17:00	//	

認定証授与式

3月11日(金)	15:00~17:30	認定証授与式／懇親会	
----------	-------------	------------	--

第37期国際物流管理士資格認定講座				開催期間：2015年9月～2016年3月				BA1512	
(フリガナ) 会社・事業所名				<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会員外		支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いします)			
						月		日 支払予定	
(フリガナ) 派遣責任者				所属・役職名					
勤務先住所 〒 -				TEL: - -		FAX: - -		E-mail: -	
(フリガナ) 受講者1			生年月日 (西暦) 年 月 日		所属・役職名			受付 NO	
勤務先住所 〒 -				TEL: - -		FAX: - -		E-mail: -	
有資格： <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士									
単元聴講	1	2	3	4	5	6	7	8	
(フリガナ) 受講者2			生年月日 (西暦) 年 月 日		所属・役職名			受付 NO	
勤務先住所 〒 -				TEL: - -		FAX: - -		E-mail: -	
有資格： <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士									
単元聴講	1	2	3	4	5	6	7	8	
名				円					
(請求書は原則として、合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。)									

協会への連絡事項			受付日	請求日	請求番号

受講申込規程

- ◆ **受講料**
 - ◆ 当協会会員 総額432,000円/1名 (受講料400,000円+消費税32,000円)
 - ◆ 会 員 外 総額540,000円/1名 (受講料500,000円+消費税40,000円)
- ◆ **有資格者優待**

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にてご受講いただけます。
(対象:「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」)

 - ◆ 当協会会員 総額378,000円/1名 (受講料350,000円+消費税28,000円)
 - ◆ 会 員 外 総額486,000円/1名 (受講料450,000円+消費税36,000円)
- ◆ **単元聴講** (1単元・1名様あたりの金額：消費税込)
※申込書の該当単元に○を記入して下さい。
◇ 当協会会員 第4,6の各単元 81,000円/単元
第1,2,3,5,7,8の各単元 54,000円/単元
◇ 会 員 外 第4,6の各単元 90,720円/単元
第1,2,3,5,7,8の各単元 60,480円/単元
- ◆ **受講料に含まれるもの** ①テキスト、資料代 ②審査料
- ◆ **定員 35名** (定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- ◆ **受講申込方法**
 - ◆ WEBまたはファックスで受け付けています。
 - WEBの場合 当協会 ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。
[トップ] → [資格講座・セミナー] → [資格認定講座] → [国際物流管理士資格認定講座]
※当協会のホームページは www.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。
 - ファックスの場合
 - ◆ 上記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、ファックスにて事務局までお申し込みください。
 - ◆ 「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
 - ◆ 本講座の受付は、先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承のほど、お願い申し上げます。詳しくは事務局までお問い合わせください。
- 【開講日直前のお申し込みについて】
 - ◆ 定員に余裕のある場合は直前での受付も行いますので、事前に事務局へご確認ください。
- ◆ **受講料支払い方法**
 - ◆ 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
 - ◆ お支払いは原則として開催前日までをお願いいたします (開催後になる場合は、支払予定日を申込書の支払予定日欄に明記してください)。
 - ◆ 振込手数料は、お客様にてご負担願います。
- 【お願い】
 - ◆ 受講予定の方のご都合がつかない場合は、全単元を代理の方が受講してください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規程によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注) キャンセルはファックスでのご連絡のみ申し受けます。
- 【キャンセル規定】
 - ◆ 開催7日前～前々日 (開催初日を含まず起算) (消費税を除く) 受講料の30%
 - ◆ 開催前日および当日 (原則として消費税を除く) 受講料の全額
- ◆ **ご注意**
 - ◆ テキストは会場でお渡しいたします。(テキストのみの販売等は一切行っておりません)
 - ◆ 講義中の撮影・録音・録画は禁止いたします。
- ◆ **申込先/プログラム内容のお問い合わせ先**
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 企画推進部
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1スズエベイディウム
TEL (03)3436-3191 FAX (03)3436-3190
- ◆ **会場案内**
 - ◆ 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
東京都港区海岸1-15-1スズエベイディウム TEL (03) 3436-3191
 - ◆ タイム24ビル
東京都江東区青海2-4-32 TEL (03) 5531-0024
- ◆ **個人情報のお取扱いについて**
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。お客様にご記入いただきました個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の開催催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
JILSホームページ <http://www.logistics.or.jp>